

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	CPD一宮新築工事	階数	地上5階
建設地	愛知県一宮市	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	668 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年04月08日
敷地面積	40,461 m ²	作成者	井上 匡代
建築面積	20,010 m ²	確認日	2024年04月25日
延床面積	94,370 m ²	確認者	三品 貴仙



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																												
<p>BEE = 1.5 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★★★★☆</p> <p>30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>① 参照値</td> <td>ロ建設</td> <td>ロ修繕・更新・解体</td> <td>ロ運用</td> <td>ロオンサイト</td> <td>ロオフサイト</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>② 建築物の取組み</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>③ 上記+②以外の</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>④ 上記+</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>78%</td> </tr> </table> <p>(kg-CO₂eqe/年・m²)</p> <p>このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。 ④は参考として運用分をBEI+で表示しています。</p>	① 参照値	ロ建設	ロ修繕・更新・解体	ロ運用	ロオンサイト	ロオフサイト	100%	② 建築物の取組み						78%	③ 上記+②以外の						78%	④ 上記+						78%	
① 参照値	ロ建設	ロ修繕・更新・解体	ロ運用	ロオンサイト	ロオフサイト	100%																								
② 建築物の取組み						78%																								
③ 上記+②以外の						78%																								
④ 上記+						78%																								

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>評価対象外。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高: 3.9m以上</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>建物高さ、壁面位置、外装・屋根・庇・開口部・塀等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。 植栽により、良好な景観を形成している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BEIm = 0.39</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水マなどに加えて、節水型硬器も採用している。 LGSを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を使用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO2排出率78%。 燃焼機器を使用していない。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■ 評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される